



小林 康夫 (KOBAYASHI Yasuo)

東京大学名誉教授
東京大学大学院多文化共生・統合人間学プログラム 特任研究員
青山学院大学 総合文化政策学大学院 特任教授
東京大学大学院人文科学研究科 比較文学比較文化専攻卒業。
フランスのパリ第 10 大学で博士号取得。

電気通信大学助教授、東京大学教養学部助教授・教授、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て現職。

専門は表象文化論・現代哲学。哲学からアート・文学・建築・ファッションまで幅広い分野での批評的活動をこれまで展開。UTCP (University of Tokyo Center for Philosophy) のセンター長を十年以上つとめ、そこを拠点に各国の研究者とのさまざまな共同研究を行ってきた。

多くの著書・編集本・翻訳がある。最近では、『表象文化論講義 絵画の冒険』(東京大学出版会、2016 年)、『オペラ戦後文化論 1 肉体の暗き運命 1945-1979』(未来社、2016 年)、『君自身の哲学へ』(大和書房、2015 年)、『「知の技法」入門』(河出書房新社、2014 年、大澤真幸との共著)、『こころのアポリアー幸福と死のあいだで』(羽鳥書店、2013 年)、『歴史のディコンストラクションー共生の希望へ向かって』(未来社、2012 年)、『存在のカタストロフィー: 〈空虚を断じて譲らない〉 ために』(未来社、2012 年)、などがある。

三宅一生デザイン文化財団 理事、日本証券奨学財団 評議員、日本デザイン振興会 評議員など。